

連合愛知安全衛生センターだより

愛知県勤労者安全衛生センター 〒456-0002 名古屋市熱田区金山町1丁目4-18 ワークライフプラザれある 3F
TEL (052) 684-0003 FAX (052) 684-0303 連合愛知ホームページからも閲覧できます <https://anzen0003.rengo-aichi.or.jp/>

～安全衛生センター第5回理事会を開催～

連合愛知安全衛生センター「第5回理事会」を9月27日、開催しました。冒頭、近藤理事長の挨拶後、議事にて議案書の内容、来年度の活動内容について活発な議論がなされた。また、センター内規一部改定、2023年度の会計決算などについて確認がなされた。



◇主な議題

- ①第35回総会議案書について
- ②安全衛生センター内規の一部改正について
- ③理事の変更について
- ④2023年度会計決算報告・会計監査報告

◇理事の変更

構成組織	新理事	旧理事
自動車総連	しらたに たくや 白谷 拓哉	井崎 啓介

新任理事挨拶

私たち全トヨタ労働組合連合会では労働災害・疾病の撲滅を目指し誰もが安全で安心して働けるための職場づくりや、安全意識の高い人づくりに取り組んでいます。具体的な取り組みとして、職場づくりの観点では加盟組合で発生した災害事例をタイムリーに共有しています。



白谷 理事

展開した情報を基に加盟組合にて類似工程の確認や、日ごろのKY活動等で活用してもらい、類似災害の未然防止活動につなげています。

また、人づくりの観点では、災害の未然防止に力を入れ加盟組合の災害未然防止活動ができる人づくりを目指し安全衛生セミナーを毎年実施しております。

各加盟組合の執行委員の方々に安全推進の強いリーダーシップが発揮できるように知識・スキルを習得する場として安全衛生セミナーをご活用いただいております。

全トヨタ労働組合連合会、加盟組合ともに一体となり、連合愛知に集う全ての仲間が安全で安心して働ける職場にする、という強い意志を持ち安全衛生センターの取り組みを進めていきます。

11月は「過労死等防止啓発月間」です。

「令和5年版 過労死等防止対策白書」を公表(厚労省)
「過労死等防止対策白書」は、過労死等防止対策推進法に基づき、国会に報告を行う法定白書であり、令和5年版で8回目となります。

「過労死等」とは？

- (1) 業務における過重な負荷による脳血管疾患・心臓疾患を原因とする死亡
- (2) 業務における強い心理的負荷による精神障害を原因とする自殺による死亡
- (3) 死亡には至らないが、これらの脳血管疾患・心臓疾患、精神障害

「令和5年版 過労死等防止対策白書」の主な内容

1. 睡眠の不足感が大きいと疲労の持ちこし頻度が高くなり、うつ傾向・不安を悪化させ、主観的幸福感も低くなる傾向があること、芸術・芸能分野における働き方の実態、メディア業界や教職員の労災事案の分析結果等について報告。
2. 長時間労働の削減やメンタルヘルス対策、国民に対する啓発、民間団体の活動に対する支援など、令和4年度の取り組みを中心とした労働行政機関等の施策の状況について詳細に報告。
3. 企業や自治体における長時間労働を削減する働き方改革事例やメンタルヘルス対策、産業医の視点による過重労働防止の課題など、過労死等防止対策のための取組事例をコラムとして紹介。



令和5年版
過労死等防止対策白書



◇安全衛生センター第35回総会

開 場 名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)
時 間 14:00～16:30 過労死等防止推進シンポジウム
16:50～18:00 安全衛生センター第35回総会

※総会出席者の皆様

過労死等防止対策推進シンポジウムへの参加申込を忘れずにお願います。

過労死等防止対策
推進シンポジウム参加申込



第82回全国産業安全衛生大会に参加

一人ひとりカケガエノナイひと つなごう未来へ 安全・健康・ゼロ災職場

第82回（令和5年度）全国産業安全衛生大会は、9月27日（水）～29日（金）の3日間、ポートメッセなごや（金城ふ頭）で開催されました。

大会初日の開会式では、西村司中災防副会長による開会の辞に始まり、十倉雅和中災防会長による大会式辞（ビデオメッセージ）、宮崎政久厚生労働副大臣、室伏広治スポーツ庁長官、大村秀章愛知県知事による祝辞、河村たかし名古屋市長によるビデオメッセージ、開催地の山崎聡志、愛知労働基準協会副会長による挨拶がありました。

28日、29日は4会場に分かれ、マネジメントシステム・リスクアセスメント分科会などの9つの分科会が行われました。この2日間で約170題のセッション、講演、研究発表等が行われ安全衛生に係る多くの方が全国から、約11,500名が参加しました。

※次号、参加された理事のレポートを紹介します。



大村知事 挨拶

大会宣言

我が国の労働災害は、関係者の努力により、長期的に減少してきた。二〇二〇年からの新型コロナウイルス感染症拡大の中、増加に転じた労働災害による死亡者数については、本年は前年より減少した。しかし、休業四日以上、の死傷災害については、第三次産業を中心に近年増加傾向にある。転倒災害や墜落・転落災害など作業行動に起因する災害も中高年層で増加している。

労働者の健康をめぐっては、仕事や職業生活に関する不安や悩み、ストレスを抱える労働者の増加や、働き方の変化の影響について注視していく必要がある。また、化学物質による健康障害の防止対策や、病気を抱えた労働者の治療と仕事の両立は、引き続き大きな課題となっている。

将来の予測の困難な現代において、安全衛生活動を推進し、諸課題を克服していくためには、DXに代表されるイノベーションをハード・ソフト両面で取り入れ、就業形態の変化はもとより、価値観の多様化に対応しなければならぬ。

労働災害のない、安心して働ける職場環境を実現することは、全ての働く人、全ての国民の願いである。そのために、国、事業者、労働者等全ての関係者が、本年度を初年度とする第十四次労働災害防止計画に掲げられた重点事項を確実に実施することが重要である。

本大会は、企業の、さらには業種の垣根を越えて、全国の関係者の参集の下、最新の情報を共有し、学び、交流する場である。ゼロ災害全員参加運動の強力な推進を決議してから五十年という節目の年である本年、ここ名古屋の地で開催される本大会において、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たに、関係者が一丸となって取り組むことを誓う。

右、宣言する。

令和五年九月二十七日

第八十二回全国産業安全衛生大会

2023年9月度 愛知県の死亡災害発生状況 <9月21日現在速報値>

20人（4人） 対前年同期24人（4人） ※（ ）内は交通事故による死亡者の内数

	業種・規模	被災者	事故の型	災害状況
9月	鉄鋼業 9名以下	クレーン運転士 50代 14年	高温・低温の物との 接触クレーン	屋外に設置された天井クレーンを運転室で操作していたところ、運転室後部から出火し、運転室内が火に包まれ、クレーン運転手が死亡したもの。